



特色を持った各地区

富津地区 ～エネルギー関連ゾーン～

富津地区は、(株)JERA富津火力発電所や日本製鉄(株)の研究施設などが稼働し、エネルギー供給基地として重要な役割を果たしています。

公共ふ頭では、主に金属製品や鉄鋼、産業機械などの内貿貨物を取り扱われており、F岸壁では、大規模災害時に円滑な緊急物資などの輸送機能を確保するため、耐震強化岸壁が整備されています。

また、地区内には、「富津みなと公園」が整備され、園内には多目的運動広場や展望広場があります。

●富津地区

施設名	施設概要				主な取扱貨物 (R5)
	延長 (m)	所定水深 (m)	エプロン幅 (m)	対象船舶 (D/W)	
A・B・C・D岸壁	360	－ 5.5	15.0	2,000	金属製品
E岸壁	130	－ 7.5	20.0	5,000	水
F岸壁	130	－ 7.5	20.0	5,000	産業機械
物揚場	857	－ 4.0	10.0	500	－



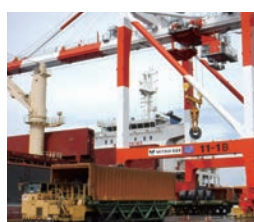
富津みなと公園



君津地区 ～鉄鋼生産ゾーン～

君津地区は、主に日本製鉄(株)東日本製鉄所及びその関連企業の専用岸壁として利用されており、木更津港の取扱貨物量の大半を占めています。

主に、鉄鉱石や石炭がオーストラリアなどから輸入され、鋼材などがメキシコやインドネシアなどへ輸出されています。



日本製鉄(株)東日本製鉄所 君津地区

江川地区 ～漁業生産ゾーン～

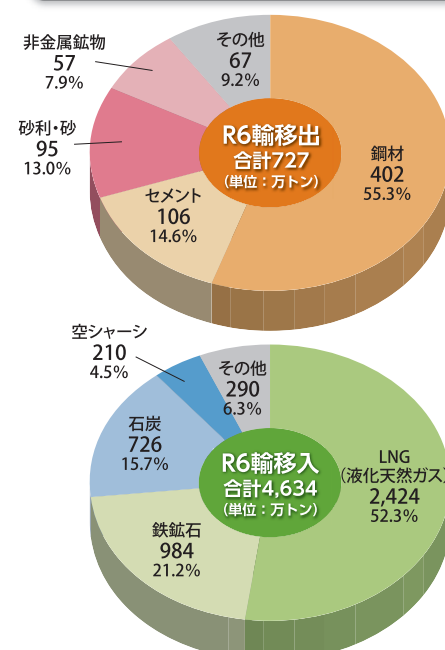
江川海岸は木更津港の最も北寄りに位置した地区であり、全面に広がる浅場・干潟を利用した海苔・あさりの漁業生産基地です。

千葉県では、船の安全な航行の確保を図るべく、航路の維持浚渫等を実施しています。



上空から見る江川地区

富津～君津地区の主な取扱品種



木更津港長期構想



木更津港の現状の問題点・課題を踏まえ、社会情勢や企業活動に伴う貨物動向など木更津港を取り巻く環境の変化に適切に対応していく必要があることから、概ね20～30年後の将来を展望する長期的な指針として、木更津港の将来像やその実現に向けた取組をとりまとめました。

物流関連ゾーン

背後圏の産業・経済・生活を支える物流拠点として、港湾施設及び物流施設を提供する空間であり、主に砂利・砂、完成自動車、将来的なRORO貨物等を扱うゾーンとします。

エネルギー関連ゾーン

電力事業者などエネルギーの生産活動に提供されるゾーンとします。

緑地・交流拠点ゾーン

快適な緑地、親水緑地等の空間で人々が憩い、やすらぎ、楽しむことのできるゾーンとします。

生産関連ゾーン

臨海部に立地する製鉄業などの企業の生産活動に提供されるゾーンとします。

環境保全ゾーン

盤洲干潟の貴重な自然環境を保全するゾーンとします。

都市機能ゾーン

商業施設や各種公共施設等が立地し、人々の暮らしの充実に貢献するゾーンとします。



空間利用ゾーニング (木更津港全体)